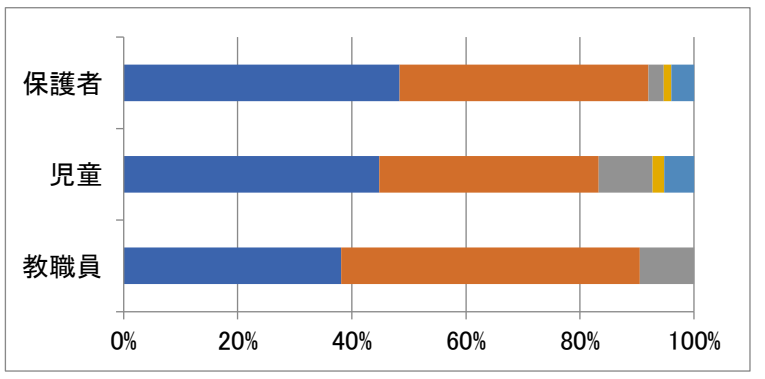
# 令和６年度　学　校　評　価

4.そう思う　3.どちらかといえば、そう思う　2.どちらかといえば、そう思わない　1.そう思わない　わからない

## （１）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

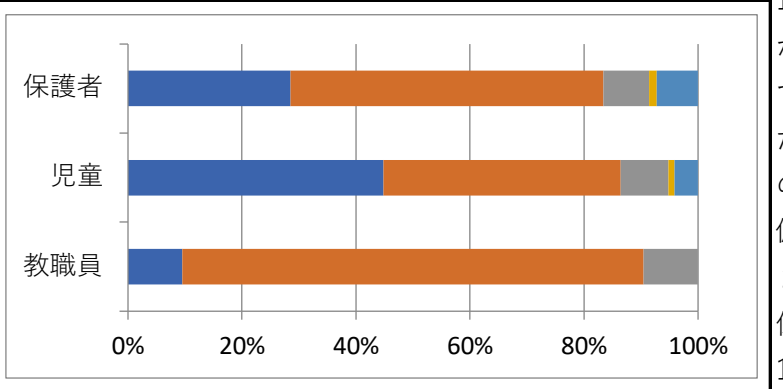
### １豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めていると思いますか。（感動・感謝、郷土愛、いのちを大切にする心、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など）




### ２自ら学びに向かう力を育む教育の推進

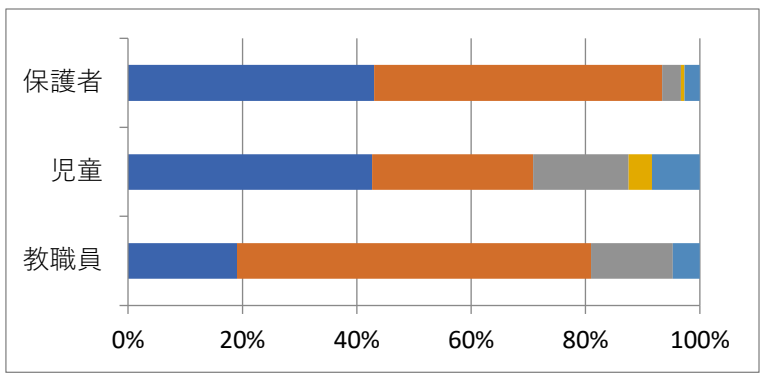
学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。




## （１）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

### ３社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進

学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりするこどもの育成に、取り組んでいると思いますか。（児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイストライ（中学校）など）




### 考察

（１）主体的に考え行動する力を育む教育の推進

１について

保護者は、４が48%、３が44%、２が3%、１が1%、児童は、４が45%、３が39%、２が9%、１が2%、教職員は、４が38%、３が52%、２が10%であった。肯定評価（４と３）が８割を超えていた。これからも、人権教育の推進、道徳、保健体育の授業の充実に努め、豊かな人間性と健やかな体を備えた児童の育成を図りたい。

２について

保護者は、４が28%、３が55%、２が8%、１が1%、児童は、４が45%、３が42%、２が8%、１が1%、教職員は、４が10%、３が81%、２が10%であった。肯定評価は８割を超えていたが、より一層児童中心の授業づくりを研究・実践し、主体的に学びに向かう児童の育成を図りたい。

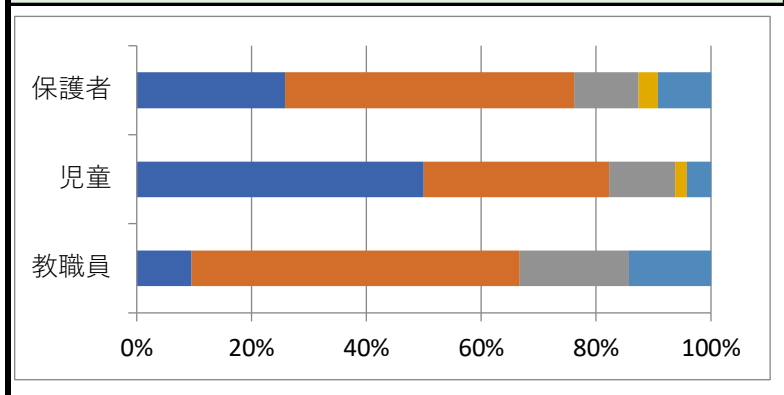
３について

保護者は、４が43%、３が50%、２が3%、１が1%、児童は、４が43%、３が28%、２が17%、１が4%、教職員は、４が19%、３が62%、２が14%であった。肯定評価は、保護者と教職員で８割を超えていたものの、児童は７割程度であった。体験的学習や地域社会と協働する場を増やし、学校や地域の活性化につなげていきたい。

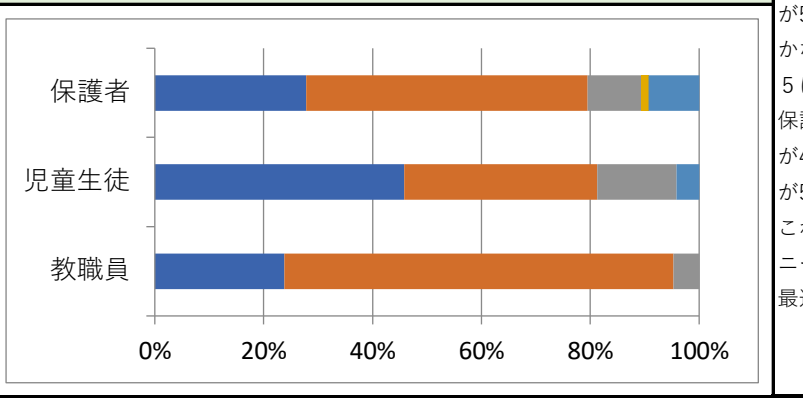
## （２）こども一人一人を尊重した教育の推進

### ４５個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。




学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていると思いますか。




### 考察

（２）こども一人一人を尊重した教育の推進

４について

保護者は、４が26%、３が50%、２が11%、１が3%、児童は、４が50%、３が32%、２が11%、１が2%、教職員は、４が10%、３が57%、２が19%であった。保護者・教職員の肯定評価が８割に届かなかった。

５について

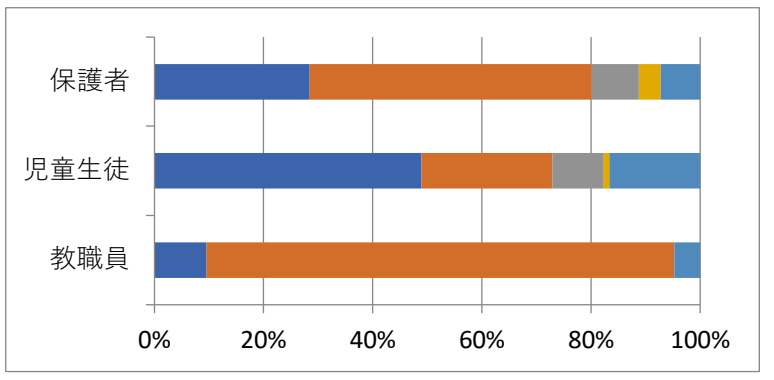
保護者は、４が28%、３が52%、２が10%、１が1%、児童は、４が46%、３が35%、２が15%、教職員は、４が24%、３が71%、２が5%であった。肯定評価が８割を超えていた。

これらの結果より、より一層の授業の改善が必要である。児童のニーズに応じた個別指導、対話を重視した学び合いを工夫し、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っていきたい。

## （２）こども一人一人を尊重した教育の推進

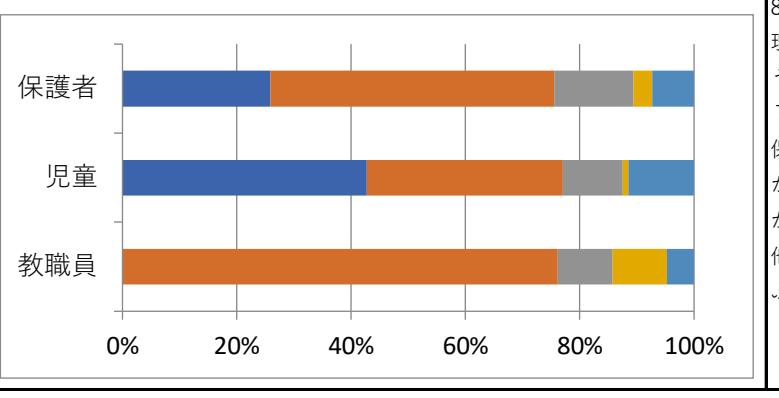
### ６特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実

学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。




### ７インクルーシブ教育の推進

学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。




### 考察

（２）こども一人一人を尊重した教育の推進

６について

保護者は、４が28%、３が52%、２が9%、１が4%、児童は、４が49%、３が24%、２が9%、１が1%、教職員は、４が10%、３が86%であった。児童の肯定評価は、７割程度であり、教職員の児童理解、支援に向けての専門性を高め、児童が温かさを実感できるようにしていきたい。

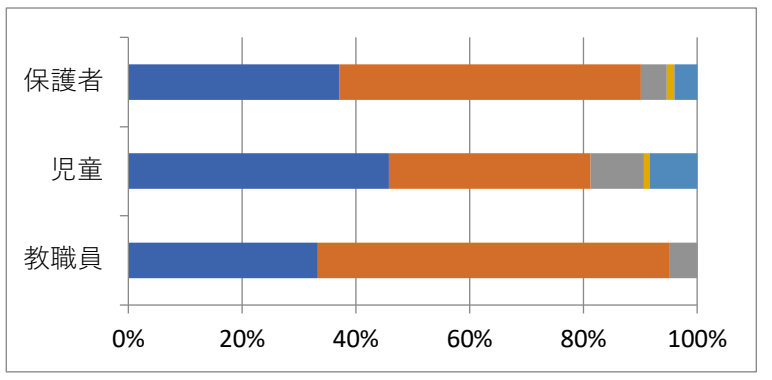
７について

保護者は、４が26%、３が50%、２が14%、１が3%、児童は、４が43%、３が34%、２が10%、１が1%、教職員は、３が76%、２が10%、１が10%であった。肯定評価は、８割に届かなかった。自他を尊重し合う教育活動や教育環境を工夫し、研修を深め、共に学ぶ教育を推進していきたい。

## （３）最適な教育環境の整備

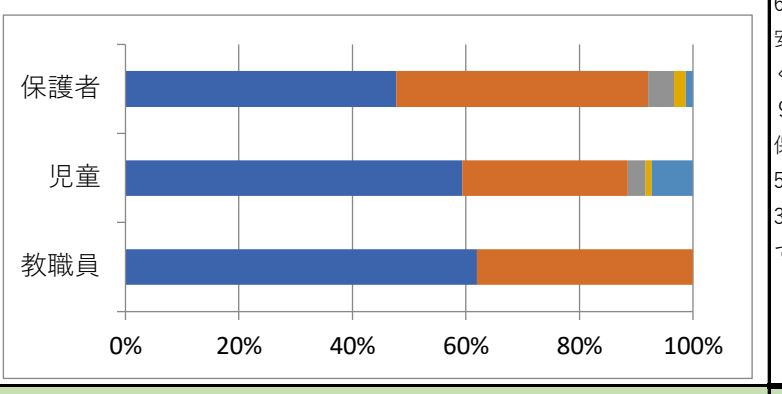
### ８ 安全・安心な学校づくりの推進

学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。




### ９ 地域や家庭と連携した教育環境の整備

学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。




### 考察

（３）最適な教育環境の整備

８について

保護者は、４が37%、３が53%、２が5%、１が1%、児童は、４が46%、３が35%、２が9%、１が1%、教職員は、４が33%、３が62%、２が5%であった。肯定評価が、８割を超えていた。確実な安全点検、実効性のある安全教育に取り組み、安全・安心な学校づくりを推進していきたい。

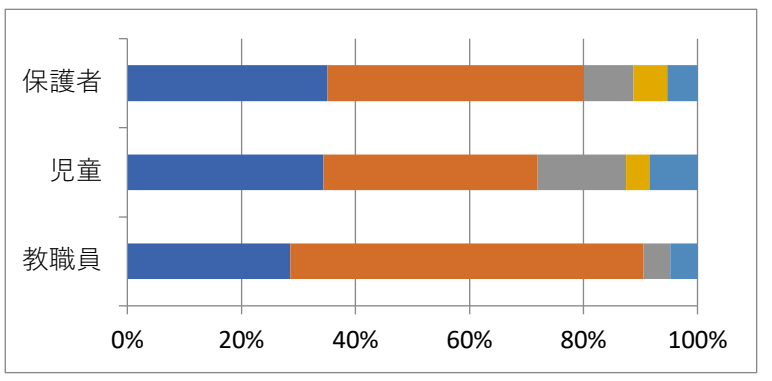
９について

保護者は、４が48%、３が44%、２が5%、１が2%、児童は、４が59%、３が29%、２が3%、１が1%、教職員は、４が62%、３が38%であった。地域連携は進んでおり、肯定評価はほぼ９割を超えている。今後も継続していきたい。

## （４）こどものいのちと権利の擁護

### 10 こどもの最善の利益を守る環境づくり

学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。




### 考察

（４）こどものいのちと権利の擁護

１０について

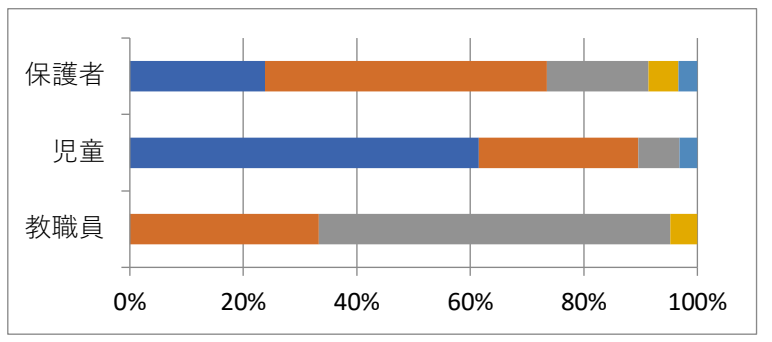
保護者は、４が35%、３が45%、２が9%、１が6%、児童は、４が34%、３が38%、２が16%、１が4%、教職員は、４が29%、３が62%、２が5%であった。

肯定評価は、保護者と教職員は８割を超えていたが、児童は７割程度であった。児童の意見表明の場の工夫と安心して相談できる体制づくりを進め、大切にされていると実感できるようにしていきたい。

## （５）池上小学校独自項目

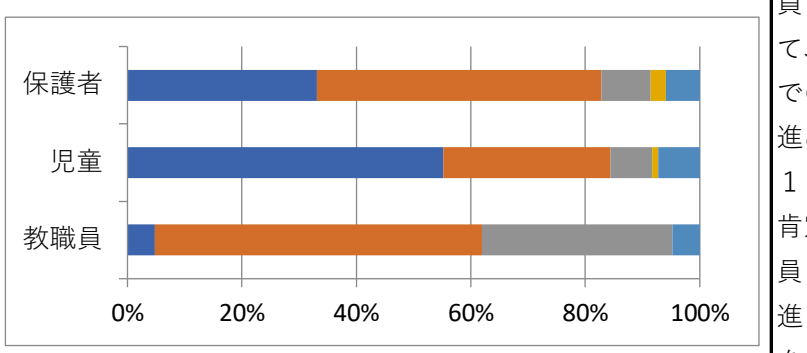
### １１　あいさつ

子どもは、進んであいさつをしていますか。



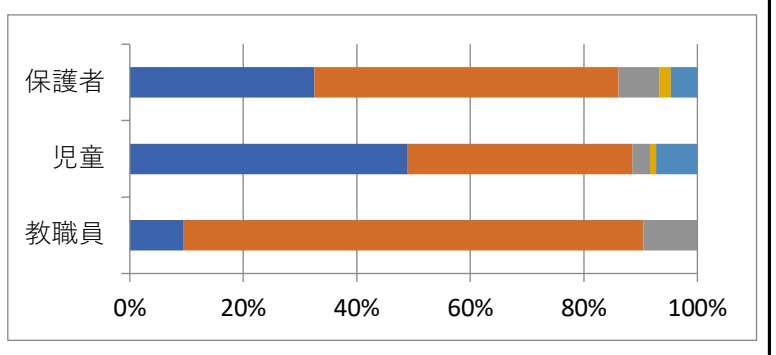

### １２　安心

子どもは、自分や友だちの命を守り大切にすること（いじめをしない、思いやる、感謝する）ができていますか。




### １３　チャレンジ

子どもは、めあてやがんばろうと思うことに向けて取り組んでいますか。




### 考察

（５）池上小学校独自項目

１１について

肯定評価が保護者は12%減少、児童は昨年同様、教職員は50%減少した。児童のあいさつ実践と思いに対して、おとなが思う児童の姿に乖離が生じている。校内での共通実践とともに保護者・地域と連携した取組を進めていきたい。。

１２について

肯定評価が保護者は7%減少、児童は11%減少、教職員は32%減少した。道徳を中心とした、心の教育の推進と人権感覚に溢れた校内環境を醸成することで、命を大切にする学校づくりを進めていきたい。

１３について

肯定評価が保護者は8%減少、児童は昨年同様、教職員は10%減少した。全般的に僅かに減少しているものの、児童の多くが、目標をもちチャレンジすることができていると考えられる。今後は、個人のチャレンジだけでなく、学校・学年・学級全体のチャレンジにも継続して取り組み、達成感や自己肯定感、自己有用感を高めていきたい。

## 来　年　度　の　具　体　的　な　取　組　に　つ　い　て

まず、校内研修の内容の工夫、研修の場の確保、実践の活性化をとおして教職員の更なる授業力向上に取り組み、児童が学ぶ喜びや肯定感を実感できるようにしていきたい。指導体制等の柔軟な対応もできるよう工夫し、教職員同士もより一層学び合い、やりがいを実感できるようにしていきたい。また、児童が思いや意見を安心して表現できる場、主体的に実践する場、学校行事等を工夫し、自他を尊重する態度や実践力を育成するとともに、達成感を感じさせていきたい。そして、今年度構築してきた保護者・地域との日常的かつ継続的な連携・協働のカリキュラムやシステムを活かし、学校・保護者・地域総がかりで豊かな心と実践力をもち、ともに高め合う児童の育成に努めていきたい。

## 小　中　学　校　関　係　者　評　価

全般的に、児童は落ち着いた生活を送っており、授業を頑張っていた。教職員の一生懸命な姿もみられた。学校生活では、集団の大切さを感じながら、椅子に座る姿勢など、基礎基本を大切にしていってほしい。挨拶については、校内ですれ違う際に、多くの児童が気持ちよい挨拶をしているが、個人差も見られ、地域では、自ら挨拶をする児童が減ってきたように感じている。地域連携事業は、児童・地域・教職員にとって、とても良い活動であったと思う。評価点平均は、３．６６（４段階評価）